

令和6年度第6回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和6年9月26日（木）午前10時から11時まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員
大内あゆ子委員
出席者 松本孝志教育次長、伊藤顕吾学校教育課長、押野一貴生涯学習課長、
伊藤明学校給食センター所長

報 告

（1）教育総務課

ア 第3次天童市教育振興基本計画の策定方針について

（2）生涯学習課

ア 市立図書館リノベーション事業に係る設計（案）について

各課からの連絡

（1）学校教育課

- ・市教委学校訪問（津山小）について
- ・市教委委嘱公開研究会の開催について
- ・中体連県大会の成績について
- ・全国学力調査の結果について

（2）生涯学習課

- ・市立図書館リノベーションワークショップの開催について

（3）学校給食センター

- ・学校給食に新米の提供について
- ・バイキング給食の実施について

<教育長あいさつ>

9月20日21日、市内での大雨の状況について、降り始めの20日に、一部の学校で登校時間を遅くして対応した。21日には、洪水警報により避難所を開設、避難された方は2人だったが大きな問題もなかった。

まちづくり懇談会での話題から部活動の地域移行について、ポイントは教員の働き方改革と生徒がやりたい部活動をどう確保してくかであり、生徒の能力向上も当然重要だが、みんなで仲良くやるとか楽しいと感じることも重視したい。負担については、さまざまな団体があって天童市以外からも集まることもあり、受益者負担をお願いすることになる。また、教員の働き方改革をどう評価するか、教員として

授業を確実に、丁寧に行い、土日はしっかり休みを取っていただくことが一つの指針であると説明し理解をいただいた。地域移行の具体的な例として、市内4つの中学校の野球部が合同で行い、今はクラブとして活動を行っている。現在は、部活動とクラブが混在しているが、やがてはクラブに移行していくことになる。

学力について、大事なのは現場の教員同士が議論しながら実践することだ。本当に子どもたちの力になっているのか、現場の教員が真剣に考える必要がある。むしろ、学校の自立が問われている。

< 報 告 >

(1) 教育総務課

ア 第3次天童市教育振興基本計画の策定方針について

内容等

教育次長：第3次教育振興基本計画は、来年度以降5年間の本市の教育方針について定めるもの。市長部局でも、教育大綱を策定し、それに連携していく計画である。国では、令和5年6月に参酌すべき国の基本計画が策定され、山形県でも現在、第7次山形県教育振興計画の策定に向けて昨年からの検討を進めている。両計画を参酌し、さらに天童市の特色も取り入れて学校教育、生涯学習、社会教育、文化財について教育委員会各課で計画を定めていく。

(2) 生涯学習課

ア 市立図書館リノベーション事業に係る設計（案）について

内容等

生涯学習課長：構造について、今の図書館を増築し現在よりも広くする計画である。リノベーションの概要は、現在20万冊の図書を24万冊に増やすことや、親子連れなど誰でも来やすい図書館とし、バリアフリーへの配慮、トイレや空調等の設備機器を一新するほか、積極的なICT化を図る。

教育長：その他意見なし。以上で第6回教育委員会会議を終了する。